

伊藤 整
日本文壇史

硯友社と一
葉の時代

4

講談社

日本文壇史Ⅳ

© 伊藤 整 一九六四

昭和三十一年七月二十五日 第一刷発行
昭和四十四年十二月五日 第五刷発行

定價五八〇圓

著者 伊藤 整

發行者 東京都文京區音羽二・二二三
野間 省一

印刷者 東京都文京區大塚六・一〇・一四
濱田 純治

印刷所 東京都文京區大塚六・一〇・一四
豐國印刷株式會社

(黑柳製本)

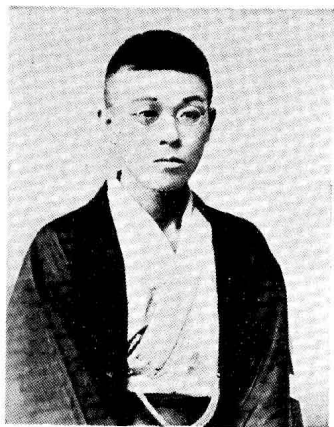
發行所 株式會社 講談社

振替口座 東京三九三〇
電話 (942) 一一二二六代表
東京

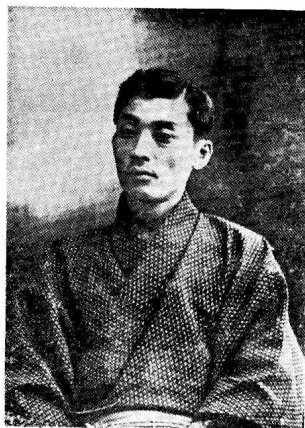
落丁本・爛丁本はお取りかえ致します。

Printed in Japan

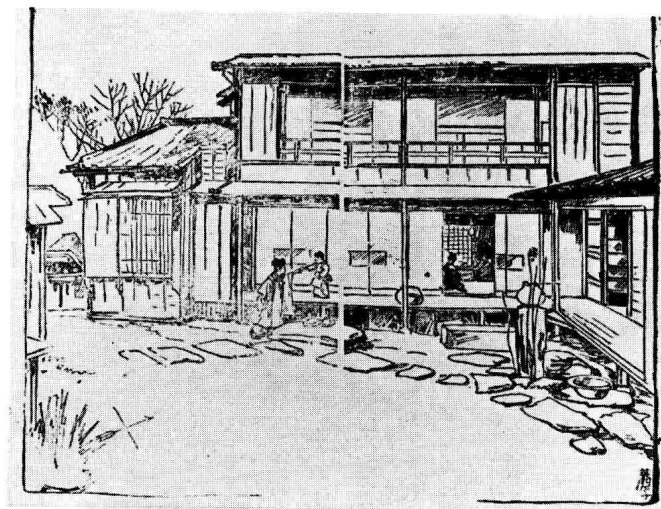
(分)0-3-91(製)105845(出)2253 (1)



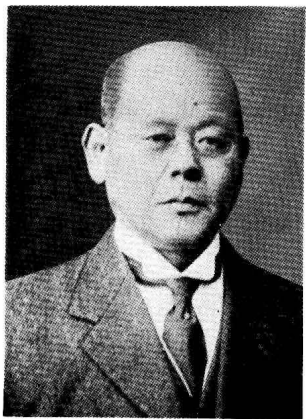
泉 鏡 花



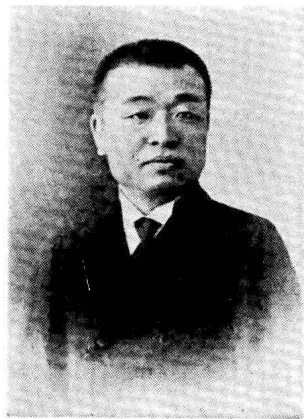
尾 崎 紅 葉



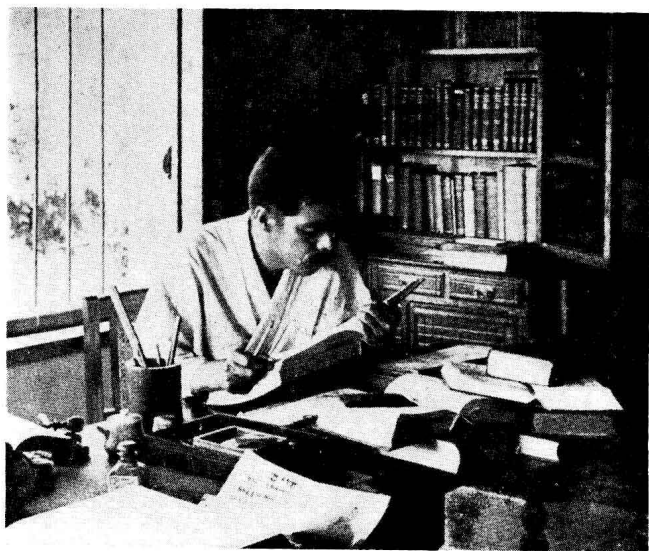
尾崎紅葉の家 左端格子窓が書生部屋
二階が書齋
右手平家が祖父母の住居



黑 岩 周 六



植 村 正 久



内 村 鑑 三

は し が き

「日本文壇史」第三卷の出版されたのは、一九五五年の四月であつた。雑誌「群像」に連載した原稿は、その時すでにこの第四卷を作るに十分な分量があつたのであるが、筆者はその前後から、翻譯「ユリシリーズ」の改訂をし、小説「若い詩人の肖像」を書かねばならなくなり、更に「群像」連載中の本稿その他の仕事に忙殺されて、その年の終り近くまで、この第四卷の整理訂正に當ることができなくなつた。その間に「群像」連載の稿ははかどり、すでに第五卷、第六卷を編輯するに足る量に達してゐる。

第四卷の出版をうながす讀者の聲が、講談社出版局や「群像」編輯部に寄せられたことを知る度に、筆者は焦躁の念に驅られた。しかし、元來が小説書きである筆者は、一年に一篇程度の小説を書かないわけにゆかず、また二十年目で舊譯を改訂する機會の來た「ユリシリーズ」改譯を放棄することもできなかつた。自分の肩に負ふべき荷物の最少限度のものは持ち運ばねばならないのであつ

た。その二つの仕事が終わった一九五五年の末から半年ほどかかつて、筆者は第四巻をここにまとめ上げ、更に第五巻の原稿の半分ほどに加筆を終へたところである。この半年の間、筆者は「群像」の連載以外は月々の雑誌にほとんどのものを書かず、この仕事に相当努力したのであるが、進行ははかばかしくなかった。

その時期に、講談社出版局の機構にも変化があつて、この本の係りは、谷井精之助氏から佐久昌氏に變り、更に川島勝氏に變つた。本稿は雑誌「群像」に發表すると、既知、未知の人々から色々な教示や訂正の申込みを受けるのが常である。また新研究が發表されたり、筆者自身の探索で書き改むべきことも出て来る。一時期の文壇全體を鳥瞰するやうな書物が、絶対に間違ひなく書き上げられることはあり得ないとしても、誤りを出来る限り少くしようとする筆者の努力は、蟻地獄を這ひ上らうとする蟻に似たやうなものである。その結果、讀者の催促、係りの人の焦躁にもかかはらず、半年かかつてやつと一冊分の本の訂正をするといふ結果になつたのである。この點について讀者と出版者の了解を得たいと思ふ。

また本書が多くの文士の回想記、自傳、作品を利用してゐるほか、先輩や同學の近代文學研究家

の書物や論文に負ふところ多いことは、第一巻以後しばしば述べたことである。筆者はそれ等の研究者たちに面接する機會ある毎に了解を得てあり、面識のない人には書面で許可を願ふのを原則としてゐる。これまでにその點で問題の起つたことはなく、むしろ積極的助言を多くの學者諸氏から與へられて來たことは感謝に耐へない。また篤學の讀者諸家からもしばしばよき教示を得てゐる。「群像」掲載の分について得た教示は、書物にまとめる時に検討し、書物にしたものについて得た教示は、更に訂正の機を待つて生かしたいと思つてゐる。

本卷で特に多く學ぶところのあつた研究は、笹淵友一氏の宮崎湖處子研究、柳田泉氏の坪内逍遙と幸田露伴の研究、大鹿卓氏の田中正造の傳記、瀬沼茂樹氏の島崎藤村研究、中村光夫氏の志賀直哉論、福田清人氏の硯友社研究と獨歩研究と大橋家の調査、鹽田良平氏の山田美妙と樋口一葉の研究、和田芳惠氏の樋口一葉の研究、吉田精一氏の泉鏡花その他の研究、村松定孝氏の泉鏡花研究、岩永胖氏の田山花袋研究、前田河廣一郎氏、沖野岩三郎氏の蘆花傳、本間久雄氏の中西梅花研究、相馬黒光氏の明治女學校と獨歩についての記述、秋聲年譜に關する榎本隆司氏の考證、小泉八雲についての田部重治、小泉一雄氏の記述、内村鑑三についての山本泰次郎氏の研究、田岡嶺雲に關し

ての西田勝氏、家永三郎氏の研究等である。

その他の多くの参考書は、ここに挙げる餘裕を持たないが、相當の分量であることは推定して頂けると思ふ。本書にのせた寫眞は、これまでのやうに鹽田良平氏所藏のものを拜借したのもあるが、外に筑摩書房の了解を得て國木田獨歩、島崎藤村、樋口一葉等の「アルバム」から借用したものもある。また筆者所藏のものも、以前より數多く使はれてゐる。

本書の訂正と校正については、講談社の係りの人々以外に中島和夫、芳賀義彦兩氏を煩はし、また索引は奥野數美氏を煩はした。佐久昌、川島勝兩氏とともにその人々へも感謝の意を表したい。

一九五六年六月十二日

伊 藤 整

索引

寫眞

植村正久、黒岩周六、内村鑑三
尾崎紅葉、泉鏡花、尾崎紅葉の家

樋口一葉、鶴田たみ子、半井桃水一家
川上眉山、馬場孤蝶、幸田露伴

佐藤輔子、仙臺時代の島崎藤村
島崎藤村の「おえふ」の原稿

國木田獨歩と弟收二、佐々城信子
國木田獨歩の佐々城信子への手紙

小金井喜美子、大塚楠緒子、田澤稻舟
坪内逍遙、坪内逍遙「桐一葉」表紙、「桐一葉」口絵

片瀬時代の江見水蔭、廣津柳浪、片瀬の江見水蔭の家
大橋新太郎、大橋乙羽、巖谷漣

索引

A

- 安部磯雄 151.
 安達謙藏 143.
 「アドヴァタイザー」
 Advertiser 247.
 饗庭篁村 5, 117, 182.
 「あいびき」 197, 202.
 「愛弟通信」 38, 39.
 赤松登志子 117.
 赤松則良 230.
 「曙新聞」 93.
 秋山定輔 140.
 「蟹の小舟」 146, 148.
 姉崎嘲風 256, 257.
 「アンナ・カレニナ」
 Anna Karenina 213, 220.
 「アルトン・ロック」
 Alton Locke 244.
 「青葡萄」 75.
 青山胤通 174, 230.
 「新井白石」 219.
 荒川漁郎（平田禿木） 119.
 有本樵水 167.
 有島武郎 241—242.
 有島壬生馬 241.
 「アーシャ」 Asya 202.

- 「朝日新聞」 4, 21, 24.
 浅香社 139.
 朝河貫一 252.
 「あしの曲」 79.
 「足尾銅山銀毒事件の由來と其事
 實」 224—225.
 「足尾銅山銀業停止請願書」 241.
 鮎貝槐園 140, 142, 143, 144.
 「欺かざるの記」 46, 270.

B

- 馬場孤蝶 27, 28—29, 59, 69, 84,
 85, 186—187.
 馬場辰猪 28.
 伴狸伴 44.
 「美妙、紅葉、露伴の三作家を評す」
 66.
 関妃 143.
 ビンデルマン 79.
 「琵琶傳」 83, 89, 204.
 陸友會 241.
 陸友會雜誌 241.
 「亡國の音」 140.
 「文學界」 3, 27, 30, 36, 60, 61, 64,
 83, 84, 85, 86, 89, 108, 159, 160,
 161, 186, 191, 237, 238, 275.
 「文藝俱樂部」 7, 9, 13, 15, 18, 23,

- 29, 32, 36, 40, 41, 59, 61, 69, 77,
79, 80, 83, 86, 91, 108, 110, 111,
113, 114, 117, 122, 132, 133, 164,
166, 167, 169, 174, 175, 180, 192,
193, 195, 204, 205, 207, 208, 221,
73, 277.
- バーネット Burnett, F.E. 92.
「平等新聞」 7, 9, 13.
- C**
- カーライル Carlyle T. 154, 197.
「カアライル」 219.
- チェンバレン, ペーズル・ホール
Chamberlain, B. H. 131.
- 千代（鶴田たみの子） 33.
- 近松門左衛門 5.
「朝野新聞」 24, 94, 95.
「近松門左衛門」 219.
「クリスチャン・ソーシャリスト」
Christian Socialist 244.
「中央新聞」 23, 24—25, 26, 41,
112, 114, 115.
- クラーク Clark, W. 52.
「コサックス」 Kosak 189.
「クラリッサ・ハーロー」
Clarissa Harlowe 258.
趙義淵 139.
- D**
- 第五高等中學校 263.
- 第二高等學校 239.
大日本協會 261.
脱天子（鷗外） 109
ドージェ Daudet, L. 85.
“Diary of Japanese Convert” 232.
- ディッケンズ Dickens, C. 5.
土井久壽彦 238.
ドストエフスキイ
Dostoevskii, F.M. 271.
- E**
- 海老名彈正 254, 260.
「江戸新聞」 24.
エマースン Emerson, R.W. 197.
「エマルソン」 219.
江口渙 227.
江口襄 227.
「英國今日之社會」 246.
英和學校 232.
江見水蔭 23—24, 26, 41, 83, 84,
88, 112, 114, 115, 116, 137, 145—
146, 149, 167, 189, 191.
遠藤よき 49, 50, 51.
「縁外縁」（後の「對髑髏」） 170.
榎本治子 276.
- F**
- フェリス女學校 64, 91.
フェルランド 79.

藤井知義	172.
藤野古白(潔)	44, 178—179, 251.
藤田茂吉	236.
深井英五	214, 217, 218.
福地櫻痴	67, 71, 248.
福井衆吉	203.
福島事件	9.
福島八十六	188.
福澤諭吉	14, 214, 230.
「フランクリン傳」	65.
「文づかひ」	206.
古河市兵衛	225, 228.
古谷久綱	38.
「風流佛」	255.
「風流微塵藏」	18, 22, 90—91, 118, 119.
布施淡	162.
二葉亭四迷(長谷川辰之助)	178, 202—204, 232, 276, 277—279.

G

「我樂多文庫」	177.
ガルスト	247.
「外科室」	164, 205.
「源氏物語」	19.
「源叔父」	272, 273, 276.
「義血俠血」	8.
「希臘史」	238.
「グラッドストーン傳」	213.
「グリンプセス・オヴ・アンファ	

ミリア・ジャパン」(知られぬ日本 の面影)	130.
「五大堂」	175.
グエテ (Goethe, J. W.)	79, 258.
「グエテ」	219.
ゴーゴリ (Gogol, N. V.)	204, 213,
「五重塔」	119.
後藤宙外	66, 72, 73, 83, 89, 119.
	120, 121, 127, 195, 250, 252,
	253, 254, 255, 257, 265, 275, 278
—279.	
グリーン博士	246.

H

八面樓主人→宮崎湖處子	
羽太銳治	115, 145.
萩原鶴吉	126.
博文館	7, 8, 10, 11, 13, 14, 18, 27,
	36, 83, 89, 147, 164, 188, 191,
	192, 193, 195, 241, 246, 257, 275,
	277.
「白髮遺臣讀楚辭」	236.
花澤春雨	167.
原抱一庵	167, 256.
原田助	260.
原田愛子	212, 215, 220.
ハリス	52.
長谷川辰之助→二葉亭四迷	
長谷川志津	203.
長谷川つね	203, 204, 277.

- 長谷川玄太郎 203, 277.
 長谷川セツ 203, 277.
 長谷川貞一郎 129.
 「初恋」 162—163.
 八田知紀 140.
 服部撫松 96—97, 98.
 ハーン, ラフカディオ Hearn, L.
 →小泉八雲
 ハイネ Heine, H. 238.
 「ハイネ詩集」 261.
 「ハイペーシア」 Hypatia 244.
 「變目傳」 3, 133, 164, 205, 223.
 樋口一葉 3, 27—28, 29—37, 40,
 59, 68, 69—70, 77, 80, 82—83,
 84, 85—89, 108—110, 111, 121—
 125, 133, 160, 167, 168, 173—
 174, 175, 186—187, 188, 189, 193
 195, 205.
 樋口瀧子 27.
 樋口邦子 27, 28, 108, 173, 186—
 187, 188.
 「非國民」 221—222.
 「比沼山の歌」 166.
 平岩煥保 154.
 平野榮太郎 246.
 平田久 219.
 平田禿木 27, 29, 31, 59, 84, 85,
 108, 109, 119, 121, 124, 161, 167,
 187, 195.
 「廣島新聞」 25, 26.
 廣津柳浪 3, 20, 23, 25, 77, 115,
 132—138, 146, 149, 164, 167,
 168, 82—183, 185, 205, 221—222
 250, 279.
 廣津和郎 136.
 廣津俊夫 136.
 「ひたごころ」 83, 89, 120, 250.
 人見一太郎 214, 215, 219.
 「ひとり寝」(風流微塵藏, 第三冊)
 118.
 ホフマン Hoffmann, E. T. W.
 79.
 「北國新聞」 4, 7, 132.
 星良子 64, 79, 100, 101, 211.
 星亨 226.
 星野露葉 167, 195.
 星野天知 63, 83, 84, 89, 92—93,
 167.
 堀口九萬一 142, 143.
 堀口大學 142.
 “How I Became a Christian”
 159.
 ユーゴオ Hugo, V. 213.
 「ユウゴオ」 219.

I

- 「茨木お瀧」 5.
 井深堀之助 260.
 市川團十郎 23, 71.
 市川左團次 23.

- 「醫學修業」 41.
五十嵐力 252.
井原西鶴 5.
伊原青々團 72, 73, 140, 254, 255.
「如何にして大文學を得ん乎」154.
池田源太郎 272.
生田葵山 17.
「イリアード」 Ilias 165.
「今戸心中」 133—134, 135, 164, 182, 185, 223.
今井彦三郎 96.
「韻文に就て」 61.
「韻文論」 160.
井上馨 143.
井上通泰 194, 200, 201.
井上哲次郎 131, 139, 165—166, 261.
井上毅 93.
犬養毅 236.
五百木瓢亭 179.
アーヴィング Irving, W. 5, 6.
石橋忍月 4, 23, 66, 132.
石橋思案 146, 149, 167.
石黒虎子 31.
石井露月(祐治) 178—180.
石樽青苔 167.
石樽わか子 77, 132.
五十木白雲 256.
板垣退助 96.
伊東夏子 188.
乙未義塾 142.
巖本嘉志子→若松賤子
巖本善治 56, 57, 58, 91, 92, 248.
岩野泡鳴 247—249.
巖谷一六 147, 148.
巖谷小波(漣) 6, 11, 12, 17, 40, 146—148, 149, 167.
泉鏡花 3, 6, 8, 13, 15—16, 17, 40, 77, 83, 84, 85, 89, 133, 146, 156, 164, 167, 168, 169, 178, 182, 184, 190, 195, 204—206, 255, 275.
J
“Japan and Japanese” 159.
「ジャパン・メイル」 Japan Mail 234.
「時事時報」 256.
「時事新報」 214.
「實驗室」 40.
「時論日報」 71, 72, 73, 89, 254.
「時勢の觀察」 234.
「自由新聞」 25, 202.
城常太郎 246.
ジョン・萬次郎→中濱萬次郎
「女學雜誌」 78, 92, 161, 248.
「抒情詩」 266, 275.
「准亭郎の悲哀」 258.
「十二文豪」 219.
「十三夜」 80, 83, 86.
十返舎一九 66.

K

- | | | | |
|-------------|--------------------------|-------------------|------------------------------------|
| 加波山事件 | 9. | 川田順 | 150. |
| 「歌舞伎新報」 | 248. | 河東碧梧桐 | 13, 104—105, 179. |
| 香川景樹 | 194. | 川合信水 | 161. |
| 攻玉社塾 | 245. | 川上眉山 | 3, 20, 23, 30—31, 32, |
| 「海城發電」 | 205. | | 34, 39, 69, 77, 87, 88, 115, 124, |
| 「改化新聞」 | 5. | | 133, 136, 149, 164, 167, 182, 185, |
| 「改良若殿」 | 184. | | 187. |
| 「改進黨」 | 5. | 川上晋二郎 | 23. |
| 寒香園 | 190, 191. | 河竹默阿彌 | 67, 71. |
| 蒲池壽美子 | 135—136. | 萱場三郎 | 49. |
| 假名垣魯文 | 72, 97, 98. | 桂園派 | 140. |
| 金森通倫 | 25, 260. | 桂濱月下漁郎→大町桂月 | |
| 金子馬治（筑水） | 66, 252, 253, 254. | 硯友社 | 85, 191, 193, 194, 246, |
| 「冠彌右衛門」 | 6. | | 272, 275. |
| 狩野享吉 | 129. | 「硯友社及其作家」 | 90. |
| 「カント」 | 66. | 雉子橋高等女學校（お茶の水高等 | |
| 「かるかや物語」 | 172, 184. | 女學校） | 78. |
| 春日野しか子→樋口一葉 | | 「きくの濱松」（風流微塵藏第二冊） | |
| 「片戀」 | 202, 204, 276, 277, 279. | | 118. |
| 片山潜 | 244—247, 260. | 木村鷹太郎 | 261. |
| 片山幾太郎 | 245. | 木下源藏 | 244. |
| 片山常吉 | 245. | キングスレイ, チャールズ | |
| 「家庭雜誌」 | 39, 213, 214. | Kingsley, C. | 244. |
| 加藤弘之 | 230. | キングスレイ館 | 244, 246. |
| 加藤拓川 | 264. | 「近畿新報」 | 17. |
| 川田綾子 | 148, 150. | 金港堂 | 160, 203. |
| 川田甕江 | 147, 148. | 「桐一葉」 | 68, 69, 70, 71. |
| 川田鷹 | 148, 150. | 基督教婦人矯風會 | 38. |
| | | 「基督教徒の非國家主義」 | 261. |
| | | 桐生悠々（政次） | 3, 7, 13, 17—18, |

- 195, 207.
 「歸省」 222.
 岸上質軒 11.
 北田正董 79.
 北田薄氷^{うすらひ}（北田尊子）77, 79, 167, 195.
 喜多村槐園 234.
 北村透谷 57, 64, 84, 93, 140, 219.
 「神戸クロニクル」 130, 234.
 「河内屋」 183, 184, 185.
 幸田露伴 18—23, 40, 71, 90—91, 109—110, 117, 118, 119, 120, 121, 122, 133, 137, 170, 172, 182, 183—184, 231, 250, 256, 255, 279.
 幸田幾美子 22.
 「蠍毒の詩」 247.
 「校外邦語文學講義」 252.
 小金井良精 10, 79.
 小金井喜美子 10, 77, 79, 167.
 小泉八雲（Hearn, L.）130—131.
 小泉一雄 130.
 小泉セツ 130.
 「湖上の美人」 97.
 「孝女白菊の歌」 140.
 「江湖文學」 205.
 「江湖新報」 97.
 國分青厓 139, 170.
 「國會」 18, 21, 90, 118, 172.
 國民協會 24.
 「國民之友」 37, 46, 79, 83, 85, 88, 90, 93, 120, 150, 160, 185, 193, 195, 204, 213, 232, 234, 248, 250, 256.
 「國民新聞」 37, 38, 40, 212, 213—214, 228, 256, 272.
 「小町湯」 113, 175.
 「金色夜叉」 208—210, 211, 279.
 小西傳助 255.
 「魂迷月中双」 248.
 「今日新聞」 72.
 「この子」 82.
 「惟任日向守」 132.
 「好色一代女」 19.
 小杉天外 72, 73, 127, 184, 185, 195, 254, 255, 275.
 幸徳秋水 25—26, 112, 114.
 高等師範學校 263.
 「ことしの夏」 60.
 高等商業學校（一橋大學） 263.
 紅葉會 194.
 「甲陽新報」 29.
 久保田米僊 38.
 久保田米齋 38.
 久保田金僊 38.
 陸羯南 260.
 「九十三年」 213.
 「雲のゆくへ」 27.
 國木田獨步 3, 25—26, 37—40, 45—51, 53—54, 55, 62—65, 98—102, 107, 156—159, 161, 174, 194,